

平成26年度実施施策に係る政策評価書

(内閣府26-82(政策19-施策①))

政策名	迎賓施設の適切な運営					
施策名	迎賓施設の適切な運営					
施策の概要	日本の外交に資するため、迎賓施設において海外の賓客に対し接遇を行うとともに、賓客が満足できる安全・快適な施設の提供など、円滑な接遇を行うための迎賓施設の管理・運営を行う。					
達成すべき目標	迎賓施設において、海外の賓客に対し接遇を行う等、日本の外交に資するものとする。その迎賓施設の役割について国民の理解を深めるため、迎賓館参観及び前庭公開を行うものとする。					
施策の予算額・執行額等	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況(百万円)	当初予算(a)	29	29	29	31
		補正予算(b)	—	—	—	
		繰越し等(c)	—	—	—	
		合計(a+b+c)	29	29	29	
執行額(百万円)	29	28	35			
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	「迎賓館の運営大綱について」(昭和49年7月9日閣議了解) 「迎賓館の公開予定に関する質問」(昭和49年2月26日衆議院内閣委員会)					

測定指標	1. 接遇業務に関して、迎賓施設管理についての苦情等の数	基準値	実績値					目標値	達成
		25年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	26年度	達成
		0件	—	—	—	0件	0件	0件	
		年度ごとの目標値	—	—	—	0件	0件		
	2. 接遇業務に関して、賓客国からの要請(施設管理上)に対応できた割合	基準値	実績値					目標値	達成
		25年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	26年度	達成
		100%	—	—	—	100%	100%	100%	
		年度ごとの目標値	—	—	—	100%	100%		
	3. 赤坂・京都迎賓館参観者及び赤坂迎賓館前庭公開入場者アンケート実施による肯定的評価(「満足」、「ある程度満足」の合計割合)	基準値	実績値					目標値	達成
		22年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	26年度	達成
		81.5%	81.5%	85.0%	93.3%	93.5%	95%	90%以上の維持	
		年度ごとの目標値	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	90%以上の維持		

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 目標達成 26年度に目標を設定した測定指標3項目について、全て目標値を達成することができた。 なお、26年度より迎賓館の接客業務が外国賓客が迎賓施設を常に安全かつ快適に滞在できる施設として提供を行うことから、迎賓施設管理運営に関する賓客国の評価や満足度を測定可能な測定指標に移行しており、また統合移行した参観及び前庭公開業務についても、目標値を達成したところである。 以上を踏まえ、施策は「目標達成」と判断した。
	施策の分析	(達成手段の有効性、効率性) 迎賓館の接客業務は、世界各国から多くの国王、大統領、首相などをお迎えし、賓客が満足できる安全で快適な施設の提供を行う国の迎賓施設として日本外交の一翼を担っている(26年度接客実績は14件(赤坂7件、京都7件))。 一方、非公開施設という特性上、国民が施設の存在や賓客外交の意義を直接理解できる機会が十分でなかったことなどを踏まえ、毎年、迎賓館参観(赤坂・京都)及び前庭公開(赤坂)を実施している(26年度は、赤坂(20,000人)、京都(13,000人)で、それぞれ8月の10日間実施。前庭公開は、11月の3日間実施(14,496人))。 これまでの参観状況を見ると、比較的中老年者層が多い傾向にあることから、若年層の参観拡大を促す取り組み(応募年齢の緩和:高校生以上を26年から中学生以上へ)や要望の多かった事項への対応(1件あたりの申込人数を2人から4人に拡充)などを行ったところであり、多くの世代の国民が迎賓施設の意義・役割を理解することにより、本施策の有効性、効率性は更に高まると考えられる。 (測定指標の有効性、効率性) 26年度より迎賓館の接客業務が外国賓客が迎賓施設を常に安全かつ快適に滞在できる施設として提供を行うことから、迎賓施設管理運営に関する賓客国の評価や満足度を測定可能な測定指標として、 ・接客業務に関して、迎賓施設管理についての苦情等の数 ・接客業務に関して、賓客国からの要請(施設管理上)に対応できた割合 に移行したところであり、今後とも、当然の使命である2つの指標達成に向け、適切な管理・運営に努めることとする。
	次期目標等への反映の方向性	【施策】 外国賓客が満足できる安全で快適な施設の提供を行うことにより、世界各国から日本に対する高い評価を維持するとともに、国の迎賓施設及び賓客外交の重要性について広く国民の理解を得るため、現在の目標を維持し、引き続き、迎賓施設の適切な管理・運営を行う。 【測定指標】 1. 接客業務(指標1、2) 迎賓館の接客業務が外国賓客が迎賓施設を常に安全かつ快適に滞在できる施設として提供を行うことから、迎賓施設管理運営に関する賓客国の評価や満足度を測定可能な測定指標に移行したところであり、26年度は目標数値を達成したところであるが、来年度も当指標を維持し、引き続き、迎賓施設の適切な管理・運営に努めてまいりたい。 2. 参観及び前庭公開業務(指標3) 26年度より、参観業務に係る達成目標の趣旨は、施設内において安全で快適な事業運営の中で、迎賓施設の役割について国民の理解を深めていただくためであることから、統合移行し、指標3のみとしている。今年度においても、目標数値である90%以上の維持を達成できたところであり、今後とも、当指標を維持し、国民に対し迎賓施設の役割について理解を深めてまいりたい。

学識経験を有する者の知見の活用	-
-----------------	---

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	迎賓館参観(赤坂、京都)及び前庭公開の満足度:アンケート結果
---------------------------	--------------------------------

担当部局名	迎賓館、大臣官房 企画調整課国際室	作成責任者名	庶務課長 春山 勝	政策評価実施時期	平成27年8月
-------	----------------------	--------	-----------	----------	---------